

いけだ IKEDA

議会だより

12月定例会 No.143
平成24年2月1日

発行：岐阜県池田町議会



千歯こき



田植え

八幡小学校米づくり体験

昔の人達は大変だったな～

★12月定例会

23年度補正予算を承認 2～3p

★質疑あれこれ 4～5p

★一般質問 6～10p

★東日本大震災に対する
池田町の取り組み 11p

★きらり・編集後記 12p

平成23年度一般会計

歳入・歳出予算総額

80億8千万円

<今回の補正予算で9千万円追加>

歳入

(単位：万円)

科目	補正額
地方特例交付金	-318
地方交付税	14,598
分担金・負担金	50
国庫支出金	-7,434
県支出金	1,346
諸収入	1,256
町債	-320
計	9,178

歳出

(単位：万円)

科目	補正額
総務費	-2,404
民生費	-8,539
衛生費	1,245
農林水産費	-1,106
土木費	2,366
消防費	14
教育費	2,624
予備費	14,978
計	9,178

歳入の主なもの（補正分）

子供手当等（国）	14,597
子供手当負担金（国）	-7,261
保育所緊急整備補助（県）	46
予防接種補助（県）	169
ワクチン接種補助	209
小水力発電	250
国体補助金	300
総合体育館改修補助	150

歳出の主なもの（補正分）

企画費（コミュニティバス）	113
妊婦健康診査委託料	287
予防接種委託料（子宮頸がん等）	705
住宅太陽光発電の補助	316
耕作放棄地再生の補助	148
小水力発電の工事費	300
道の駅整備工事費	1,227
八幡小改築工事の許可申請	26

審議内容

池田町収入印紙等購買基金

条例を可決

条例の一部改正4件

補正予算を可決

人事案件

人権擁護委員推薦の同意

稲葉 政雄 62歳

池田町本郷

松原 孝一 60歳

池田町草深

意見書を提出

原子力発電所に

関する意見書

〔主旨〕

確実な安全・安心が将来にわたって担保されない限り、原子力発電所の再稼働は慎重に検討されたい。
同時に再生可能エネルギーを積極的に普及させたい。

内閣総理大臣等に提出

補正予算でここがこうなる

【池田町収入印紙等購買基金条例】ができた。
池田町では年間450件ぐらい申請が予想される。
パスポートは10年用と5年用があり、年間、印紙の基金として60万円組んだ。

メリット

旅券（パスポート）申請が便利になった

パスポートの手数料として印紙と県の証紙は役場内で購入できます。

他の自治体はどうか。

パスポート発行の権限移譲を受けたのは県下42市町村の内22市町。
基金条例は12市町にある。

パスポートについて、池田町は先進地



パスポート発券風景

パスポートの手数料

(この印紙と証紙が役場で買える。)

区 分		収入印紙	岐阜県収入証紙	合 計
10年旅券		14,000円	2,000円	16,000円
5年旅券	12歳以上の方	9,000円	2,000円	11,000円
	12歳未満の方	4,000円	2,000円	6,000円

耕作放棄地再生

ふれあい街道の下（願成寺）に梅林

約1反の放棄地に梅20本を植える。
3年間取り組み、すでに200本ほど植わっている。
国から87万円補助が出て、町の補助は148万円。



耕作放棄地が梅林に

保健衛生費で

妊婦健診者が増えたので287万円追加。

安心して赤ちゃんを産んでほしい。

予防接種を打つ人が予想以上に多く705万円追加。

【日本脳炎】 400人増、

【子宮頸がん(中学1年～高校2年の女子)】 220人増、

【ヒブワクチン】 で 40人増、

【小児ワクチン】 で 70人増の予定。

つらい思いをしないように予防しましょう
(医療費も安くなります)

コミュニティバス

企画費（コミバス）に113万円の補正予算とは

バス停を作るのに、86万5千円（1基2万円余）。
バス停のデザインも決定し順次建てていく。
今年3月までのコミバス燃料費26万7千円を追加。
いよいよ2月から町内の全区域をバスが回る

質疑 あれこれ

12月議会に上程された議案の中から主な
質疑を要約してお知らせします。

◆総務建設産業委員会◆

問 パスポート事務を行っている近隣町村数と基金60万円の根拠は。

答 県内で22市町村。金額については実績や他町村の状況を踏まえて決定した。



「栄盛の滝」に小水力発電装置
(宮地小学校)

問 県単小水力発電推進モデル事業の内容は。

答 らせん式で水路のなかに設置する10Wタイプ1カ所と、落差を利用した縦型(低落差発電)、出力200Wのタイプの2カ所の2種類。農業用施設の安全の用に供する街灯への電力供給や小学生の学習の機会として、県のモデル事業として実施する。

問 耕作放棄地対策の現状は。

答 現状では約3町3反の農地が放棄地となっており、耕作放棄地対策協議会で協議する中進んでいる。ふれあい街道沿いについては、観光面や有害鳥獣対策も含めて整備していきたい。



マーキングされた樹木

問 道の駅整備事業工事請負費の内容は。

答 アプローチの屋根や飲食棟の増設等、道の駅を快適に利用して頂くために総合的に判断して、利便性の向上を図るための工事である。

問 ふれあい街道の整備状況は。

答 地元立ち会いのもと調査し、交通に支障のある個所にマーキングした。所有者の了解を得るなか、今年度、予算の範囲内で

除伐を行い、来年度以降も継続して施工していきたい。

問 コミュニティバスの新たな運行への取り組み状況は。

答 養老鉄道への乗り継ぎなどを考慮した時刻表や、停留所の確保などの検討もあり、調整が必要だが、住民の方に啓発するなか、24年2月には運行していきたい。

問 有害鳥獣対策の状況は。

答 有害鳥獣被害対策協議会を平成22年4月に発足し、アンケートをとるなどして、檻おろの購入や緩衝地帯を設けるなどしてきたが、今年度は、侵入防止柵を約2500m施工予定である。

問 森林環境税の内容は。

答 岐阜県は森林には公益的機能があり、これを維持していくため、平成24年から28年までの5年間で、総額約60億円の税収を見込んでいる。県議会で審議中であり、可決されれば県と連携し町も啓発していく。

問 下水道事業の今後の方針は。

答 来年度より、工事については四次認可に向けての見直し、高度処理浄化槽については高率補助への取り組みを検討していく。使用料については年明け早々に検討していく。

問 池田温泉新館リニュー

答 アル工事設計委託料について、主な工事の内容は、屋根及び外壁塗装、外

◆民生文教委員会◆

柵取り替え、ふすま・障子・壁紙の張り替え、浴室内では、寝ころび湯の新設などである。

問 体育指導委員がスポーツ推進委員に名称が変わるが、この条例のみ改正か。また地区公民館単位に設置されている体育推進員と名称が混同しないか。

答 現在就任いただいている15名の方の名称はスポーツ推進委員となる。体育推進員の名称については、混同しないよう今後、適切な名称を検討していく。



教育委員会（スポーツ推進委員会）主催のふれあい街道ウォーキング（総合体育館前）

問 予防疫種委託料で子宮頸がんの実施状況は。

答 中学一年生から高校二年生の女子生徒717名が対象で、24名が接種。接種率は35%である。

問 子ども手当について、大幅に減額されているが、当初予算で見込んでいた子ども手当の支給額に増額されず、法改正により10月から新たな支給額が設定されたため減額する。来年6月分からは所得制限が導入されることもあり、今後の動向を見守りたい。電算委託料に

問 学校給食センター修繕料の内容は。

答 給食センターの食器、食缶洗浄機が導入後17

問 学校給食センター修繕料の内容は。

答 給食センターの食器、食缶洗浄機が導入後17

答 給食センターの食器、食缶洗浄機が導入後17



老朽化した食器食缶洗浄機（学校給食センター）

については、そのことを踏まえてシステム改修費として今回増額した。

問 国民健康保険の無給付家庭表彰の内容は。

答 表彰世帯は120世帯の196名で、その内一人世帯は89世帯であり、以前は物品を送っていたが、希望もあり商品券を贈るようになった。今後、保険証が個人カード化されても表彰対象は世帯単位で行なう。

前回一四二号
訂正とお詫び

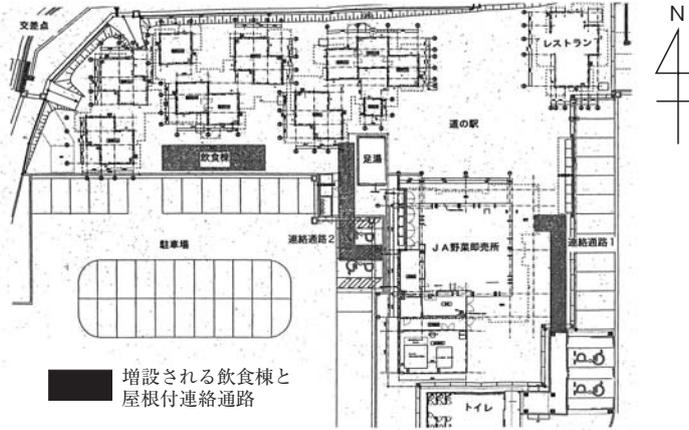
温地↓温知
消費電力は月間約1000Kw
↓月間約1000Kwh



窪田弘子 議員

国体と道の駅

道の駅地図



■ 増設される飲食棟と屋根付連絡通路

用意周到な国体準備を見て、積極的に参加しようという意識の町民が増えている。今後の課題は、
県の国体総事業費は165億円と言われるが、池田町ではいくらになるか。

町長

今、民泊応募家庭は156軒となり喜んでおり、地域の連帯・スポーツ振興などにつながるかと期待している。11月のリハーサル大会を経験し課題も分かった。多くの応募者

が予想され、外でのテレビ放映、入場制限、駐車場、時間延長など。
全体で経費は2億円ほど、補助金はその3分の1位出る。

道の駅もやはり用意周到にすべきだったと思う。今度直される不都合な部分は？

町長

飲食棟1とアーケード2と遊具。1227万円で増築する。

テナントさんが気持ちよく商売でき、リピーターが増え、撤退する店がないように、現場の声を良く聞かれない。私の聞く所、1番直してほしいのは通路を平らにする事。足の弱い人はあの坂を歩くのが怖いと言われる。2番目は屋根をもっと付ける事。

町長

皆様の意見を聞いて進めている。屋根を伏せるのは500万円余で発注した。

道をよく聞かれる、ふれあい街道・池田山頂の看板が出ていない。

町長
今調査しているが、看板は統一的に設置する。

公共建築物の設計は重要

建築費用は入札で競争されている。建物を左右する設計は是非コンペをしてデザイン競争をさせたい。道の駅の手直しも設計コンペをして、税金を有効に使われない。私は、屋根をすっぽりかぶせ、個々の店はなるべくオープンにするのがいいと思うが、町長は一般の長屋式でなく何でこの形にされたのか。

町長

コンペには時間がかかるし、設計者にはこっちのいう事が聞いてもらえない場合もあるが今後は考える。道の駅は、温泉という中核施設があるので、伊勢の「おかげ横町」をイメージした。

これが池田町の住基カード



住基カードの活用

500円で10年間使える。高齢者の方が運転免許を自主返納された場合プレゼントしたらどうか。身分証明になるスマートな物だ。

町長

紛失する場合もあるし本当に必要か考えねばならない。



牧村範康 議員

住民サービスの向上に向けて

～公共施設のネット予約システム構築を～

IT社会が加速度的に私たちの身近になってきている今、中央公民館や地区公民館、総合体育館の各ホール、会議室等の予約状況がネット上で確認でき予約できるシステムが必要ではないか。また、グラウンド、テニスコート、バーベキュー場など、利用するには予約が必要な様々な施設なども、複雑でアナログ的なシステムではなく、パソコンのみならず、スマートフォンなどのモバイル端末から、瞬時にその時のタイムリーな情報が入手でき目的が完結する事ができれば、より民間に近いデジタルサービスを提供できるのではないかと。また、住民の皆さんが求める目的別にHPから検索できるシステムが必要だと考えるがどうか。

町長

デジタル化が進んでいるのは事実だが、職員と住民が対面して接する点も重要な点であると考えます。ただ、道の駅オープン以来、ホームページへの要望も増してきており、改善していく必要がある。ネット予約に関しては、サーバーや管理の問題があり難しい。デジタルサービスは、利用者の利便性の向上のためHPの内容を一層充実させてい

くことからやっていきたい。

対面でアナログ的なシステムでは、職務の効率性は下がる。システム構築に関して、技術レベルに問題があるのか。

町長

職員の技術レベルに関しては、可能なレベルであると認識しているが、人員配置の問題はある。

要望

まずは、ネット予約状況が確認できる環境の構築。さらに、デジタル化に対応できる人材の採用を望む。

○利用希望の3ヶ月前から前日まで

- ステップ1 池田町役場産業課(0585-45-3111)へ利用希望日の予約状況を確認する。
- ステップ2 空きがあれば仮予約をする。
- ステップ3 産業課へ来庁していただくか、FAXで「利用許可申請書」を提出する。

- ・予約は、平日8時30分～17時30分のみ受け付けています。
- ・当日の利用申込はできません。

大津谷バーベキュー場の利用方法(ホームページより抜粋)

スクールゾーンゾーン

カラー舗装や

路面表示の活用を

スクールゾーンは、通学する子どもの安全を絶対優先させるという立場で、子どもの事故防止対策の重点地域である。

現在、池田町では通学路の指定はあるが、スクールゾーンの指定は無い。通行車両への注意を促す観点と交通事故や防犯上の観点から、行政のスクールゾーンに対する認識を問う。

町長

道路幅や通行規制の問題があるが、地域の皆さんと慎重にやっていく。また、スクールゾーンも重要だが、子どもたちに整然と歩かせる事も大切である。

通学時間帯で通行規制をかけること、地元の理解を得ることは難しいかもしれない。そこで幅が狭い道路は学校周辺のみラインを引いたり、文字による表示だけでも効果があると考えるが。

町長

注意喚起という意味では表示は必要だと考える。警察、公安委員会とも協議して進めている。

カラー舗装の部分



路面表示とカラー舗装の例

公共下水道北部処理区 高度処理浄化槽の高率補助を



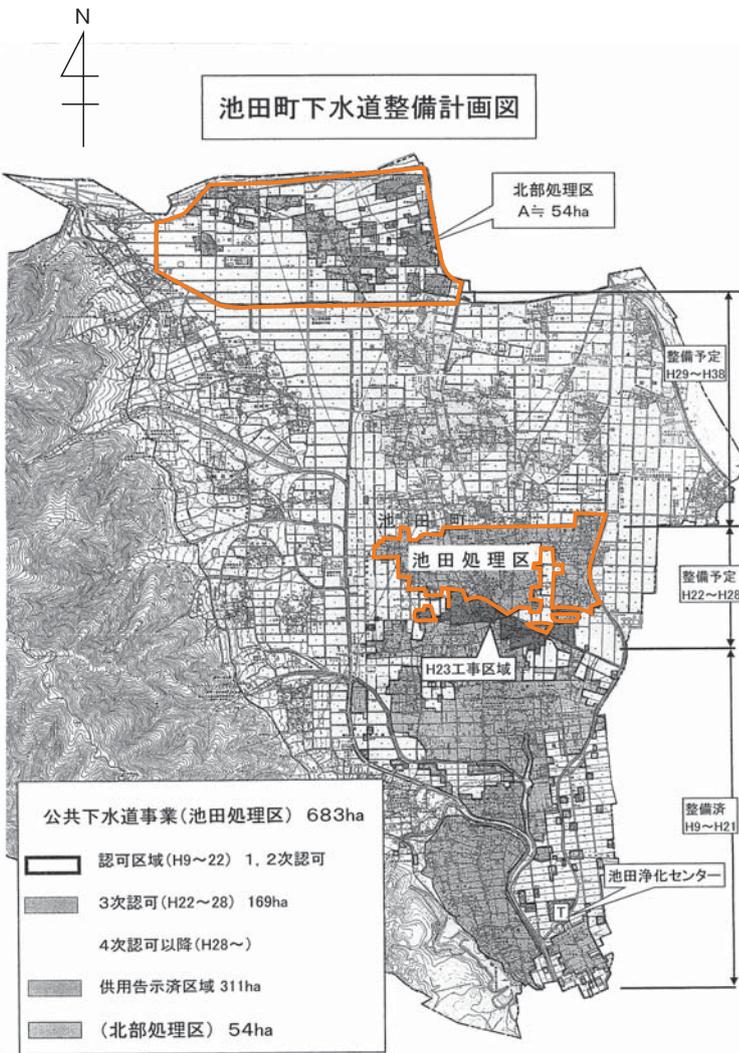
遠藤和雄 議員

池田町の公共下水道は、農業集落排水施設を合わせて普及率は、平成22年度末で67%となっているが、北部下水道計画は今後15年から20年かかると予想される。北部処理区については極めて不透明な現状である。平成23年度の公共下水道事業費に、3億8千9百万円、施設管理費に、1億1千5百万円、農業集落排水施設管理事業費に1億6千8

百万円、農業集落排水事業と公共下水道事業特別会計への一般会計の繰り出し金は、起債償還を含めて、4億4千3百万円と大きな負担になっている。北部処理区の住民にとって税負担の不公平を強く感ずるが。

町長 池田町は公共下水道区域・農業集落排水区域・北部処理区という三つの方策をとりながらやってきた。整備区域は、農業集落排水、公共下水、北部処理区含めて、1179haの計画で進めてきた。23年度末で764・3ha、整備率は64・8%となっている。残り414・7haを、25haずつ推進しても、あと17年かかる。毎年4億から5億の負担金を持っているので不公平感もあるのも事実である。

将来、北部処理区を接続した場合、平成22年5月に提出資料によると北部処理区のための処理場増建設事業費が、2億9千万円、管路建設費が、7億4百万円、合計9億9千4百万円と算出されている。膨大な工事費が必要だ。下水道未設置のところは合併浄化槽で対応するというところで、7人槽の補助金は41万4千円、標準工事費は110万円、自己負担は70万円と家庭内配管、更に将来公共下水道接続費が28万円必要でなかなか踏み切れないのが現状である。町長は、3期目のマニフェストで第4次認可以降地区の浄化槽の高率補助制度を創設すると言っておられますがどのような考えか。



町長 池田町全体としての財政的なもの、あるいは事業量等を含めて検討する。第4次認可を受けることを含め、来年度は真剣に取り組みたい。



森嶋和明 議員

「飛騨美濃じまんの原石」に指定された池田山を中心とした観光開発の今後の予定、計画は



ふれあい街道からスポーツ公園を望む

池田温泉を核として進められてきた池田町の観光宣伝、誘客活動は「池田温泉道の駅」のオープンにより一歩前進し、池田山を含め、ふれあい街道を経て、揖斐、大野、本巣へとつながっていく「西美濃夢街道」構想が見えてきました。池田町、揖斐川町、大野町、本巣市の3町1市が連携してこの活動の今後の展開、計画は。

町長

「西美濃夢街道推進協議会」は「西美濃夢源回廊協議会」として発足した。3町1市がお互いに連携をとりながら大きな資源の有効活用を図っていききたい。池田町としては、片山から舟子地区に至るふれあい街道を中心に、池田温泉周辺をリフレッシュする部分として、「余暇の森」霞間ヶ渓周辺は、運動とレクリエーションの場として「交流の森」、

大津谷周辺は古墳群等があることから、「学習の森」とし、レジャー等を含めて登山道を3ルート考え「名勝の森、池田の森」という4つの森構想を思い進めてゆきたい。

ふれあい街道の観光バスの運行について、案内標識の不備、道路の不備や景観を誇る桜の木の対応は。



ふれあい街道禅蔵寺桜並木通り

町長

願成寺古墳群地域は県指定の文化財となっており難しい。クラック部分は少し拡幅してゆく。禅蔵寺の桜は切らない道のルートを替えての対応を考えていく。

看板等は相当古い物があり全体的に整備していく。

町長

岐阜清流国体のバドミントンの競技一種目の受け入れに対し、町の負担経費とその内容は。

24年度として約1億円が必要と思っている。その内約3分の2くらいは町の負担と試算している。各地区の公民館の整備や、町としての施設の整備も進められ、これらは資産として残る。バドミントン競技の受け入れにより池田町としてのスポーツの向上と民泊による地域の連携が強くなり、まちづくりの一環としてよくなると考えている。



野網義一 議員

下水処理計画の見直しを

東光寺谷地区農集に
大量の雨水が流入！

高度処理型合併浄化槽の補助制度を設け下水管敷設工事だけで1メートル5万円かかる公共下水道計画の見直しを。池田温泉新館の排水も流入している東光寺谷地区の農集処理場は処理能力の限界に近い。大雨の時、処理場の流入

水が大幅に増加し処理能力オーバーしている。雨水が流入しているのではないかと。

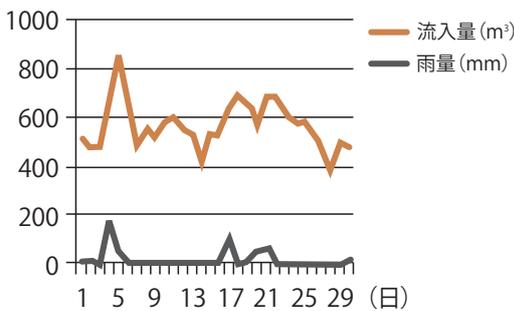
町長

高度処理合併浄化槽に補助すれば公共下水道よりはるかに財政負担は少なくなる。関係地区の皆さんに説明やアンケートなどをして区域を策定したい。雨水の流入は調査し対応する。

町長

バリアフリーや下水道接続に限定した補助制度を検討する。

養老町では工事費の20%を助成、限度額10万円で地域振興券を発行。10月末で130件、工事総額は2億3045万円で経済効果は21倍である。施主はもちろん工事業者も助かる地域活性化事業。民泊のための改修や下水道接続の促進、バリアフリー等需要は多い。



東光寺谷処理場への流入量と雨量(役場) 2011年9月

じまんの原石 池田山を活かせ

じまんの原石池田山の林道池田明神線の垂井町区域では5年で千本の桜を植える事業が進行中。林道の沿線としての協力をしたらどうか。ハングライダー基地の隣にある案内板がほとんど読み取れない、再整備を。

ふれあい街道を大型バスが通れるよう樹木の除伐が計画されている。ランニングや歩行者も多いので安全対策は十分にされたい。禅蔵寺の枝垂れ桜や文化財も活かされたい。

町長

隣町との連携不足があった。登山道は3ルート整備。道標や展望台、桜の等高線等池田山を楽しんでもらえるよう計画したい。

福井県の 原発事故が心配

福井県には14基もの原発があり大変不安だ。原発に対する町長の考えは。防災計画の見直しは。放射能を測る線量計も確保を。

町長

将来的には原発に頼らない電力の代替を求めていく必要がある。万が一に備え携帯用の放射能測定器を一台発注(3月納入予定)している。防災計画の見直しについては情報交換がスムーズに行えるよう体制をとっている。



垂井町の千本桜(林道池田明神線)

東日本大震災に対する池田町の取り組み

2011年3月11日東日本大震災(M9)が発生、地震にともなう大津波が襲撃しあらゆる物を飲み込んで宮城県、岩手県、福島県を中心に未曾有の災害をもたらした。福島第一原発も地震と津波の影響でレベル7というチェルノブイリ並みの重大事故を起こし、その後30km圏内は避難区域になった。その周辺地域でも放射能に汚染され、除染作業が始められている。池田町は義援金や救援物資・職員の派遣などをしてきた。その一部を紹介したい。なお、町民の中には勤務先や団体・個人等で被災地に対し様々なかたちで支援されていることを付記し、感謝します。

義援金

3/14~10/26 役場や社会福祉協議会、学校や新聞社などでの受付分

計 20,439,052円

救援物資

3/18

飲料水 1.5ℓペットボトル 1万本 岩手県産業文化センター

3/23~3/31

救援物資(カップ麺やインスタント麺、タオルや石けん、ティッシュ、ゴミ袋、使い捨てカイロ、乾電池、トイレットペーパー・おむつなど) 提供者914名

段ボール 420箱分

240箱 岩手県産業文化センター

180箱 宮城県

10/10~10/12

冬用布団 380枚 カバー・シーツ 218枚

提供者78名(内町外10名)

宮城県東松島市内 仮設住宅などへ

職員の派遣

保健師	保健センター	1名	岩手県陸前高田市	5/13~5/18
保健師	地域包括支援センター	1名	岩手県陸前高田市	5/25~5/30
水道課職員		1名	福島県国見町	9/1~24/3/31



液状化により浮上したマンホール。震度6強の国見町ではほとんどのマンホールが浮上している。

もしも、この池田町で 大きな災害がおこったらどうする

- 最低限の水や保存食の確保
- 普段から各自が避難場所・避難経路を確認しておく事
- 誰が誰を支援しつつ避難するのが行政の立場から、災害時の細かい分担
(各種相談、全戸調査、医療機関との連携、安否確認、仮設トイレの設置、給水工事や燃料配布等)や他県市町に求める緊急的・長期的支援内容

(保健師のレポートより抜粋)

大震災対談(12/11)
中央公民館



左から大西暢夫カメラマン
武田文子さん(東松島市)
田畑八重子さん(陸前高田市)



池田町の木は、山桜に指定されており、毎年4月になると大津谷や霞間ヶ溪公園では、多くの花見客で賑わいます。

宮地小学校では地域の方々とのつながりのなかで「美濃池田さくらを育てる会」が設立されています。代表の河村望さん（願成寺）にインタビューしました。



1. 「美濃池田桜を育てる会」を立ち上げたきっかけは

昭和62年5月に宮地小の5年生が「池田町みどりの少年団」に入会すると同時にふるさと学習の場として発足。子供たちが種から桜の木を育てて、池田山全山を桜の木で埋め尽くしたいという思いから、先生や地域の方々の協力のもとに取り組み、継続的に活動するには組織化する必要があると感じた。

2. 今までの活動内容

苗木を育て町内の各所で植栽することが主な活動となっているが、横浜市、名古屋市、東京都日の出町、全国池田サミット参加市町など、要望があれば全国各地どこへでも配布している。それに伴い配布先との交流会も開催されている。特に横浜市磯子区育成会とは相互訪問をするまでになった。

また、全国緑の少年団活動発表大会、東海地区みどりの少年団サマージャンポリー、森林愛護少年団交流会、岐阜県みどりの祭り、揖斐緑と水のまつりなど各種のイベントに子供たちが参加することにより、見聞を広めるなど、かけがえのない心の財産となっている。

また、池田町みどりの少年団として、優良森林愛護少年団、国土交通大臣表彰、みどりの奨励賞、緑化功労

者表彰、桜功労者、小さな親切実行章など数々の表彰を受けて、子供たちの自信にもつながっている。私たち関係者にとっては、何よりも子供たちの笑顔を見ることができて嬉しい。

3. 桜の木を育てる苦労は

当初、種がなかなか発芽しなくて全滅することもあった。作業の流れとしては、サクランボ拾い、種洗い、種の取り出し、種まき、水やり、肥料、草取り、わら敷き、日除け作業、苗の植え替え、支柱建てなどの手作業を毎日行うことは大変だが、試行錯誤しながら徐々に発芽率が向上してきた。

4. 今後の活動への思いは

目標としては毎年町内に50本程植栽していきたい。今年度は、東日本大震災で被災した陸前高田市に

100本送り、更には全国の方々にも要望があれば配布し、その地域の方々との交流もしていきたい。また桜は、毎年4月になると花が咲きますので、その下で皆さんが喜んでいただけることや、作業をすることにより地域のつながりが深まって行くことも有り難いことだと思いますので、継続して宮地小学校の子供たちと共に活動していきたい。



美濃池田桜を育てる会の皆さん（大津谷）

（土川 博）

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

この言葉は、年齢を重ねて来ますと新鮮味が薄れて来るような気がしますが、昨年の東日本大震災で被災された方々には、本当にお気の毒に思いますが、どのような気持ちで新年を迎えられたのでしょうか。

被災後の状況を見ていますと、改めて人と人のつながりや地域のつながりが大切なことだと感じました。またボランティアの活躍を見ておられますと、日本人の忘れかけていた思いやりの心を思い出させてくれます。

被災者の方々にとりましては、年が変わることをきっかけに再スタートが出来ることを願うばかりであります。

我が町においては、昨年はお陰様で大きな災害もなく、過ごしてきましたが、いつ起こるかもしれない災害に対処出来るような体制を整えていなければと感じています。

我が家があり家族が居て、今年もお正月を迎えられましたことを感謝し、皆様方にとりまして、本年も幸多き年となることをお祈りいたします。

（土川 博）